

平成29年度奈良県・大和高田市公立学校教員採用候補者選考試験を次のとおり実施します。

平成28年5月13日

奈良県教育委員会教育長 吉田育弘

平成29年度奈良県・大和高田市公立学校教員採用候補者選考試験受験案内

1 試験の日時

(1) 第1次試験

日 時	平成28年7月9日（土）午前8時50分から 一般教養及び教科専門 平成28年7月16日（土）～同月18日（月）指定された日及び時刻 集団面接（個別）
場 所	受験票送付予定の平成28年6月10日（金）午前11時頃に奈良県教育委員会事務局教職員課ホームページでお知らせする予定です。

(2) 第2次試験

日 時	平成28年8月13日（土）指定された時刻 実技試験 小学校（音楽及び体育） 平成28年8月14日（日）指定された時刻 実技試験 中学校（音楽、美術及び保健体育）、高等学校（音楽、美術、書道及び保健体育） 平成28年8月15日（月）指定された時刻 集団面接（討議） 平成28年8月17日（水）～同月21日（日）指定された日及び時刻 個人面接（模擬授業を含みます。）
場 所	平成28年8月9日（火）午前11時頃に奈良県教育委員会事務局教職員課ホームページでお知らせする予定です。

2 募集する校種等、教科等及び採用予定者数

校種等	教科等	採用予定者数
小学校	※ 小学校英語教育推進特別選考を含む。	170人程度
中学校	国語16人程度、社会13人程度、数学16人程度、理科13人程度、音楽7人程度、美術6人程度、保健体育14人程度、技術・家庭計7人程度及び外国語（英語）16人程度	108人程度
高等学校	国語10人程度、地理歴史5人程度、数学8人程度、理科（物理、化学、生物）計5人程度、音楽1人程度、美術2人程度、書道1人程度、保健体育5人程度、外国語（英語）9人程度、家庭（調理）1人程度、農業1人程度、工業（電気・情報）1人程度、商業2人程度 ※ 国語及び商業は、大和高田市立高田商業高等学校各々1人程度含む。	51人程度
特別支援学校		38人程度
養護教諭		10人程度
栄養教諭		6人程度
実習助手	工業科、工業科以外	3人程度

3 受験資格

次に掲げる要件の全てに該当する人であること。

- ① 昭和52年4月2日以降に生まれた人又は昭和41年4月2日から昭和52年4月1日までに生まれた人で平成28年3月31日までに36月以上教諭として勤務したことがある人（国立及び公立（奈良県以外）学校教諭、私立学校の正規の教員は、出願時に在職証明書（在職期間が明記されているもの、様式は自由）を提出してください。）又は昭和32年4月2日以降に生まれた奈良県公立学校栄養職員（任期の定めのない人に限ります。）で平成28年3月31日までに36月以上勤務実績を有する人（栄養教諭、実習助手以外の受験者については臨時的任用又は任期付採用の本県公立学校常勤講師の経験月数を、栄養教諭にあっては本県公立学校栄養職員の経験月数を、実習助手にあっては臨時的任用又は任期付採用の本県公立学校常勤講師又は実習助手、寄宿舍指導員の経験月数をそれぞれ含みます（いずれも非常勤職員の期間を除きます））。
- ② 受験する校種等で以下の免許状を所有する人又は平成29年3月31日までに取得見込みの人で、所有する免許状の有効な状態を平成29年4月1日現在で保持できる人

校 種 等	所有する教育職員免許状及び資格
小 学 校	小学校教諭の普通免許状所有者
中 学 校	受験教科の中学校教諭の普通免許状所有者
高 等 学 校	受験教科の高等学校教諭の普通免許状所有者 家庭（調理）については、「家庭」の免許状及び調理師免許所有者
特別支援学校	特別支援学校教諭の普通免許状所有者
養 護 教 諭	養護教諭の普通免許状所有者

栄養教諭	栄養教諭の普通免許状所有者
実習助手	教諭普通免許状の有無は問いませんが、工業科の実習助手を志望する場合は、旋盤、溶接、鋳造等の実務経験又は技術を有することが望ましい。また、工業科以外の実習助手を志望する場合は、特別支援教育、医療、福祉関係又は農業教育の専門性を有することが望ましい。

③ 学校教育法第9条各号及び地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しない人

④ 県内どこにでも勤務できる人

4 選考種別

ア 一般選考

(1) 募集する校種等、教科等

2 募集する校種等、教科等及び採用予定者数と同じ。

(2) 受験資格

3 受験資格と同じ。

(3) 出願手続

5 出願手続についてと同じ。

(4) 選考方法

7 選考方法及び結果発表についてと同じ。

(5) 併願受験について

「身体に障害がある人を対象とした選考」を併願受験することができます。

イ 教職経験特別選考

(1) 募集する校種等、教科等

2 募集する校種等、教科等及び採用予定者数と同じ（ただし、実習助手を除きます）。

(2) 受験資格

次に掲げる要件の全てに該当する人であること。

① 昭和41年4月2日以降に生まれた人又は昭和32年4月2日以降に生まれた

本県公立学校栄養職員（任期の定めのない人に限ります。）

② 3 受験資格②～④の全てに該当する人

③ 現に国立若しくは公立（奈良県以外）学校教諭又は私学の正規の現職教員として勤務し、かつ、平成28年3月31日現在において3年以上の勤務経験を有する人、若しくは奈良県内の公立学校において、平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間で通算3年（36月）以上常勤講師の経験がある人（1月に満たない場合は、それぞれの日数を通算し、30日を1月とみなします。ただし、通算後の残りの日数が15日以上の場合も1月とみなします。栄養教諭にあつては、本県公立学校栄養職員の経験月数を含みます。）

(3) 出願手続

5 出願手続についてと同じ。

国立及び公立（奈良県以外）学校教諭、私立学校の正規の現職教員は、出願時に在職証明書（在職期間が明記されているもの、様式は自由）を提出してください。

(4) 選考方法

第1次試験では一般教養試験を免除し、教科専門及び集団面接における合格最低点（一般選考同校種等・教科等受験者）以上の人を合格とします。第2次試験は、ほかの受験者と同じ選考を行います。

(5) 併願受験について

「小学校英語教育推進特別選考」又は「中学校・高等学校英語教育推進特別選考」と「身体に障害がある人を対象とした選考」の併願受験することができます。

ウ 身体に障害がある人を対象とした選考

(1) 募集する校種等、教科等

2 募集する校種等、教科等及び採用予定者数と同じ。

(2) 受験資格

次に掲げる要件の全てに該当する人であること。

① 3 受験資格①～④の全てに該当する人

② 自力通勤ができ、かつ、介護者なしで職務遂行が可能な人

③ 身体障害者手帳の交付を受け、障害の程度が1級から6級までの人

(3) 出願手続

5 出願手続についてと同じ。

(4) 選考方法

第1次試験における筆記試験後に、個人面接を実施します。

(5) 併願受験について

「一般選考」又は「教職経験特別選考」、「社会人を対象とした特別選考」のいずれかと併願受験することができます。また、「教職経験特別選考」を選択した場合は、「小学校英語教育推進特別選考」、「中学校・高等学校英語教育推進特別選考」のいずれかと併願受験することができます。

エ 社会人を対象とした特別選考

(1) 募集する校種等、教科等

校種等	教科等
高等学校	数学、理科（物理、化学及び生物）、家庭（調理）、農業、工業（電気・情報）、商業

(2) 受験資格

次に掲げる要件の全てに該当する人であること。

- ① 学校教育法第9条各号及び地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しない人
 - ② 数学及び理科（物理、化学及び生物）を受験する場合は、昭和52年4月2日以降に生まれた人で、大学を卒業又は大学院を修了しており、研究施設、民間企業（教育事業を除きます。）、官公庁等（公立学校を除きます。）に現に正規職員として3年以上の勤務経験を有する人
 - ③ 家庭（調理）を受験する場合は、昭和47年4月2日以降に生まれた人で、調理師免許取得後5年以上の実務経験を有する人
 - ④ 農業、工業（電気・情報）、商業を受験する場合は、昭和47年4月2日以降に生まれた人で、受験する教科に関わる3年以上の実務経験を有する人
- ※ ②、③、④の勤務経験又は実務経験は、平成29年3月31日までの常勤のものとしします。
- ⑤ 受験する校種及び教科の教諭普通免許状の有無は問いません。ただし、相当の

教諭普通免許状を所有しない場合は、次のア及びイに掲げる条件に該当することが必要です。

ア 担当する教科に関する専門的な知識経験又は技能を有する人

イ 教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている人

なお、この場合、合格後に特別免許状申請の手続が必要となります。

(3) 出願手続

5 出願手続についてと同じ。ただし、2,000字以内の自己推薦文を提出してください。(A4判、様式自由)

(4) 選考方法

第1次試験における一般教養に替えて、個人面接を実施します。その他は7 選考方法及び結果発表についてと同じ。

(5) 併願受験について

「身体に障害がある人を対象とした選考」を併願受験することができます。

(6) その他

第2次試験に合格した場合は、在職・勤務証明書等を提出してください。(A4判、様式自由)

オ 小学校英語教育推進特別選考

(1) 募集する校種等、教科等

小学校(ただし、小学校英語専科担当の募集ではありません。)

(2) 受験資格

3 受験資格①～④の全てに該当する人

小学校教諭の普通免許状以外に英語の中学校又は高等学校教諭普通免許状所有(平成29年3月31日までの取得見込を含みます。)、若しくは9 加点申請の⑤aに該当する人

(3) 出願手続

5 出願手続についてと同じ。

(4) 選考方法

第2次試験の内容は一般選考(小学校)と同じ実技試験、集団面接(討議)のほか、外国語活動の模擬授業を含む個人面接を行います。

(5) 併願受験について

「教職経験特別選考」及び「身体に障害がある人を対象とした選考」を併願受験することができます。

カ 中学校・高等学校英語教育推進特別選考

(1) 募集する校種等、教科等

中学校外国語（英語）及び高等学校外国語（英語）

(2) 受験資格

次の各号に掲げる要件の全てに該当する人

① 3 受験資格①～④の全てに該当する人

② 出願時点で、実用英語技能検定（日本英語検定協会）1級合格、TOEFL（国際教育交換協議会）PBT600点以上若しくは同CBT250点以上、同iBT100点以上、TOEIC（国際ビジネスコミュニケーション協会）860点以上取得のうち、いずれかに該当する人

(3) 出願手続

5 出願手続についてと同じ。

(4) 選考方法

第1次試験では教科専門試験を免除し、一般教養及び集団面接における合格最低点（一般選考同校種等・教科等受験者）以上の人を合格とします。第2次試験は、ほかの受験者と同じ選考を行います。

(5) 併願受験について

「教職経験特別選考」及び「身体に障害がある人を対象とした選考」を併願受験することができます。

5 出願手続について

① 願書の提出期間

出 願 方 法	出 願 期 間
郵 送	平成28年5月11日（水）～同月27日（金） （注）必ず書留郵便とし、5月27日（金）までの消印のあるものに限り受け付けます。封筒の表面に「出願書類在中」と朱書きしてください。

	<p><郵送先> 〒630-8502 奈良県教育委員会事務局教職員課（住所不要）</p>
インターネット	<p>平成28年5月11日（水）～同月27日（金） （注）奈良県ホームページから「電子自治体」のe古都なら（電子申請）を選択後、申請・届出を選択してください。</p>

② 出願書類等

出 願 方 法	出 願 書 類
郵 送	<p>ア 教員採用候補者選考試験願書等（A票・B票・C票・D票） <u>A票・B票は、必ず両面印刷をして提出すること。</u> <u>C票・D票には、写真を必ず貼付すること。</u></p> <p>イ <u>受験票郵送用のり付封筒1通（長3の定形封筒に242円切手（特定記録として郵送するため）を貼り、宛先を記入したもの）</u></p> <p>ウ 受験票は、平成28年6月10日（金）に送付する予定です。</p>
インターネット	<p>ア 教員採用候補者選考試験願書等（A票・B票・C票・D票）</p> <p>イ <u>平成28年6月10日（金）にメール送信される受験番号・試験会場が入力されたC票（受験票）・D票（写真票）をプリントアウトし、D票に写真を貼付して平成28年6月24日（金）までに奈良県教育委員会事務局教職員課まで書留郵便で郵送してください。また、C票にも写真を貼付し、第1次試験当日に持参してください</u></p>

	<u>い。</u>
--	-----------

6 試験について

(1) 第1次試験について

試験内容	実施方法	出題内容、課題、持参物等
一般教養	マークシート	教職教養と時事問題を出題し、マークシートで解答します。
教科専門	筆記	<p>高等学校地理歴史及び理科は、全ての領域の内容を出題範囲とする共通問題（全員解答）と選択問題（2領域を選択し、それぞれ解答）を出題します。</p> <p>※ 地理歴史は世界史、日本史、地理から2領域を選択。理科は出願時に選択した領域を含め、物理、化学、生物から2領域を選択。</p>
集団面接（個別）	全校種	中学校及び高等学校外国語（英語）受験者は、英語による質問があります。

(2) 第2次試験（実技試験）について

校種	教科	課題及び持参物等
小学校	音楽	<p><歌唱></p> <p>下記の①～③のうち、当日指示する曲を無伴奏で歌唱します。※ 楽譜は試験場に用意しています。</p> <p>① 「夕やけこやけ」 中村雨紅 作詞／草川 信 作曲</p> <p>② 「さくらさくら」 （日本古謡）</p>

		<p>③ 「茶つみ」 (文部省唱歌)</p> <p><器楽演奏></p> <p>ピアノ、ソプラノリコーダー、鍵盤ハーモニカの中から各自選択し、任意の曲を演奏します。</p> <p>※ 楽譜を持参し、見てもかまいません。</p> <p>※ ピアノ以外の楽器は各自持参してください。</p>
	<p>体育</p>	<p>器械運動 (マット運動)、水泳 (クロール)、ボール運動 (ゴール型) 及び走・跳の運動 (小型ハードル走等)</p> <p>※ 運動着、水泳着及び体育館用運動靴を持参してください。</p> <p>※ 荒天により水泳が出来ない場合は、体づくり運動 (多様な動きをつくる運動) を実施します。</p>
<p>中学校 高等学校</p>	<p>音楽</p>	<p><ピアノによる弾き歌い></p> <p>下記の①～③のうち、当日指示する曲にピアノ伴奏を付けて主旋律を歌唱します。</p> <p>※ 楽譜を持参し、見てもかまいません。</p> <p>※ 調及び使用する伴奏譜については、特に指定しません。</p> <p>中学校</p> <p>① 「花の街」 江間章子 作詞／團伊玖磨 作曲</p> <p>② 「早春賦」 吉丸一昌 作詞／中田 章 作曲</p> <p>③ 「花」 武島羽衣 作詞／滝廉太郎 作曲</p> <p>高等学校</p> <p>① 「この道」 北原白秋 作詞／山田耕筰</p>

		<p>作曲</p> <p>② 「椰子の実」 島崎藤村 作詞／大中寅二 作曲</p> <p>③ 「荒城の月」 土井晩翠 作詞／滝廉太郎 作曲</p> <p><ピアノによる弾き歌い></p> <p>当日指示する曲にピアノ伴奏を付けて歌唱します。</p> <p><自由曲の演奏></p> <p>声楽、ピアノ又は他の楽器で任意の曲を暗譜で演奏します。</p> <p>※ ピアノ以外の楽器は各自持参してください。ただし、自動車での持ち込みはできません。</p> <p>※ 伴奏者が必要な場合は、同伴（1名のみ）してください。</p> <p>※ 演奏する曲の楽譜を2部用意（コピーは不可）し、当日持参してください。</p>
中学校 高等学校	美術	<p><水彩による表現></p> <p>水彩画に使用する用具及び画板を持参してください。 画架の持参は自由です。</p>
高等学校	書道	<p>書道用具を持参してください。</p>
中学校 高等学校	保健体育	<p>武道（柔道又は剣道を選択）、水泳（クロールと平泳ぎと背泳ぎ）、球技（ネット型：バレーボール）、ダンス（現代的なリズムのダンス）、器械運動（マット運動）、陸上競技（ハードル走）</p> <p>運動着、水泳着及び体育館用運動靴を持参してください。</p> <p>※ 荒天により水泳が出来ない場合は、球技（ゴール型</p>

		：バスケットボール）を実施します。
--	--	-------------------

7 選考方法及び結果発表について

(1) 第1次試験の選考方法

小学校は一般教養＜90点満点＞、教科専門＜200点満点＞（国語・社会・数学・理科＜各45点＞・英語（リスニングを含む）＜20点満点＞）、集団面接（個別）＜100点満点＞及び加点の合計により判定します。

小学校以外は一般教養＜90点満点＞、教科専門＜200点満点＞、集団面接（個別）＜100点満点＞及び加点の合計により判定します。

なお、教職経験特別選考、中学校・高等学校英語教育推進特別選考、社会人を対象とした特別選考及び実習助手については、別途判定します。

(2) 第2次試験の選考方法

小学校は実技試験＜50点満点＞、集団面接（討議）＜100点＞及び個人面接＜250点満点＞の合計得点により判定します。

小学校以外（中高実技有）は実技試験＜100点満点＞、集団面接（討議）＜100点＞及び個人面接＜200点満点＞の合計得点により判定します。

小学校以外（中高実技有以外）は集団面接（討議）＜100点＞及び個人面接＜200点満点＞の合計得点により判定します。

(3) 上記各試験には、それぞれ合格基準があり、基準に達しない場合は不合格となります。したがって、合計得点及び順位が上位であっても不合格となる場合があります。

(4) 第1次試験の結果は平成28年8月3日（水）、第2次試験の結果は平成28年9月16日（金）、どちらも午前10時頃に、奈良県庁正面掲示場に掲示するとともに、午前11時頃に奈良県教育委員会事務局教職員課ホームページに掲載し、また、それぞれ本人宛にも通知します。ただし、電話での問い合わせに応じることはできません。

8 名簿登載及び採用について

(1) 合格者は、奈良県・大和高田市（大和高田市を志望して合格した場合）公立学校教員採用候補者名簿に登載し、原則として平成29年4月1日に採用します。

(2) 平成29年3月31日までに該当する受験校種等、教科等の普通免許状を取得で

きない場合、学校教育法第9条各号又は地方公務員法第16条各号のいずれかに該当した場合等、3 受験資格①～④に該当しないと認められる場合は、採用内定が取り消されます。

(3) 小学校を受験して合格した人で、専修免許状取得のために大学院又は教職大学院に進学・進級する場合は、辞退届（様式は自由）と次回（合格した翌年から最大2年以内）受験時のための、大学院・教職大学院特別選考受験の申請書（様式は後日、教職員課ホームページに掲載）を提出してください。次回受験時は第1次試験を免除し、第2次試験の集団面接（討議）及び個人面接（模擬授業等を含む。）を受験していただきます。

(4) 日本国籍を有しない人を採用する場合は、任用の期限を付さない常勤講師とします。

9 加点申請

(1) 次の①～⑥に該当する人については、「加点申請」することにより第1次試験に際し加点します。第2次試験では、①～⑥に該当する人であっても加点されません。

（〔 〕は加点する点数）

※ ①～④に限り、平成29年3月31日までに取得見込みの人を含みます。

※ 小学校英語教育推進特別選考受験者のみ、①はa、bのいずれかを申請することができます。

① a 小学校英語教育推進特別選考を受験する人で、小学校及び中学校教諭普通免許状（英語）を共に所有する人〔10点〕

① b 小学校又は小学校英語教育推進特別選考を受験する人で、小学校及び中学校教諭普通免許状を共に所有する人〔6点〕

小学校英語教育推進特別選考を受験する人で、小学校及び中学校教諭普通免許状（英語以外）を共に所有する人〔6点〕

② 中学校を受験する人で、小学校及び中学校教諭普通免許状を共に所有する人又は「音楽」「美術」「技術」「家庭」を含む中学校教諭普通免許状を複数所有する人〔6点〕

③ 中学校を受験する人で、「司書教諭」の資格を所有する人〔6点〕

④ 高等学校を受験する人で、受験する高等学校教諭普通免許状と「情報」の高等学校教諭普通免許状を共に所有する人〔6点〕

- ⑤ a 小学校英語教育推進特別選考を受験する人で、実用英語技能検定（日本英語検定協会）準1級以上合格、TOEFL（国際教育交換協議会）PBT550点以上、CBT213点以上若しくはiBT80点以上取得又はTOEIC（国際ビジネスコミュニケーション協会）730点以上取得のうち、いずれかの資格を有する人〔10点〕
- ⑤ b 中学校又は高等学校外国語（英語）を受験する人で、実用英語技能検定（日本英語検定協会）準1級以上合格、TOEFL（国際教育交換協議会）PBT550点以上、CBT213点以上若しくはiBT80点以上取得又はTOEIC（国際ビジネスコミュニケーション協会）730点以上取得のうち、いずれかの資格を有する人〔6点〕
- ⑥ 臨床心理士、社会福祉士又は精神保健福祉士のいずれかの資格を所有する人〔6点〕

(2) 申請する場合は、願書（A票）の「加点申請」に必要事項を記入してください。

(3) 加点申請する人のうち、上記(1)の①～④に該当する人は加点申請欄に記入した免許状等のコピーを、(1)の⑤に該当する人は実用英語技能検定、TOEFL又はTOEICの実施団体が発行する資格証明書のコピーを、(1)の⑥に該当する人は臨床心理士、社会福祉士又は精神保健福祉士の資格証明書のコピーを平成28年7月9日（土）の第1次試験受験当日に必ず持参してください。

(4) 上記の(1)の①～④において、取得見込みで採用試験に合格した人は、取得後に必ず奈良県教育委員会事務局教職員課まで上記の必要な書類のコピーを提出してください。

(5) 必要な書類のコピーを提出しない場合又は取得見込みで受験し、平成29年3月31日までに取得できなかった場合は、加点が無効となります。このため、採用内定が取り消されることがあります。

10 願書交付について

① 直接受け取る場合

奈良県教育委員会事務局教職員課、奈良県東京事務所及び奈良県産業会館（大和高田市）並びに大和高田市教育委員会事務局教育総務課及び学校教育課において交付します。

② 郵送により取り寄せる場合

返信用封筒（角2封筒に140円切手を貼り、宛先を記入したもの）を、〒630-8502 奈良県教育委員会事務局教職員課（住所不要）まで送付してください。

③ インターネットでダウンロードする場合

奈良県教育委員会事務局教職員課ホームページから受験案内・願書をダウンロードしてください。印刷は、A4判にしてください。

11 この試験についての問い合わせは、奈良市登大路町30番地 奈良県教育委員会事務局教職員課（電話0742-27-9844）において受け付けます。